

# 富裕層向け事業強化

## みずほ証券 専門担当者2割増 資産管理・運用支援を充実

みずほ証券は、富裕層向けの資産管理サービス「プライベートバンキング（PB）」事業を強化する。現在百数十人の専門人員を、2018年3月期をめぐりに2割増員する。資産ポートフォリオ分析や高度な資産運用、相続・贈与、オーナー経営者向け事業承継アドバイスのサービスを提供する。みずほ銀行、みずほ信託銀行との連携も強化し、預かり資産残高の拡大につなげる。

オーナー経営者や上場企業の経営者など個人富裕層は、投資情報や法制度に精通していることが多く、PB担当者も高レベルな人材が求められる。そのため同社は社員

は、15年12月末段階で証券業界トップで、2位の3倍以上である148人。

上級レベルのシニアプライベートバンカー保有者では、トップの野村証券に次ぐ2位となっている。

みずほフィナンシャルグループでは銀行や信託銀行にもPB事業を担当する部署があり、グループ各社は相互に協力している。みずほ証券が、オーナー経営者にかかる資産承継・事業承継などで信託銀行と連携した案件

数は、15年度が14年度比1.7倍となっている。

海外で普及しているプライベートバンキングサービスだが日本での普及は途上。野村証券や他の銀行系証券も力を入れており、顧客獲得競争は一層激化しそうだ。